

狛江・多摩地域の地下水・水道水に
有害化学物質！
有機フッ素化合物

狛江市民の血液検査の説明も

PFAS 汚染

実態は？どうしたらいいの？ 緊急学習会

講師：根木山幸夫



(多摩地域の有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染を明らかにする会 共同代表)

主催：PFAS 汚染を明らかにする狛江の会

(問い合わせ：重国たけし 090-1775-9052 sigeny@nifty.com)

6月12日 (月) 10時～

場所：中央公民館講座室

(予約不要 どなたでも参加できます)

発がん性、脂質異常症や、子どもの成長の遅れ、生殖機能への影響なども指摘される PFAS。米軍横田基地で使われてきた泡消火剤などに含まれ、多摩地域で地下水汚染が広がっています。近年、狛江でも基準値を大きく超える高い値の PFAS が検出されています。

実態と対策について、いっしょに学びませんか？疑問、心配事について聞いてみませんか？

多摩地域 650 人を対象に行われてきた血液検査(血中 PFAS 濃度を測定・京都大学原田准教授)が狛江市民を対象に行われます(6月27日)。参加者(20人)を募っています(詳しくはうら面参照)

有機フッ素化合物(PFAS)汚染の実態を 明らかにする採血検査の協力者を募ります

多摩地域の地下水・水道水が、発がん性などの指摘される有機フッ素化合物(PFAS)で汚染されていることが明らかになっています。東京都水道局の調査で、狛江市の井戸水からも基準値を大きく超える値が検出され、以前は狛江でも飲料水に井戸水が含まれていたことから、心配の声が広がっています。「多摩地域の有機フッ素化合物(PFAS)汚染を明らかにする会」では、水道水・井戸水を摂取し続けてきた住民の体内にどのように汚染が蓄積されているかを明らかにするため、血液検査を実施しています(分析は原田浩二京都大学准教授が研究の一環として実施します。これまで多摩地域の約 650 人の調査が行われ、平均血中濃度は全国平均の約3倍、かなりの人がアメリカの公的機関が健康リスクの指標を超える結果となりました。今回、あらためて追加調査を行い、前回調査で参加のなかった多摩地域の自治体などの住民の調査を行います。

つきましては、以下の要項で狛江市民から採血検査にご協力いただける方を募集します。

●日時:6月 27 日(火)午後 1 時～ ●会場:府中診療所(府中市府中町1丁目13-3)

【血液検査実施要項】

- ◆検査枠は 20 人程度です。今回の採血検査は、市内居住歴5年以上の方を対象とさせていただきます。6月 12 日の学習会(表面参照)会場での申し込みまでを第一次締め切りとし、応募者多数の場合、年齢等を踏まえて抽選とさせていただきます。空きがあれば追加で募集します。
- ◆採血に伴う費用負担はありません。 ◆採血協力者には後日、別途説明の案内を差し上げます。
- ◆採血は医師立会いのもとで看護師が行います。疫学調査を目的とするもので個人の健康調査ではありませんが、希望する方には後日検査結果をお返しします。
- ◆採血希望者は下記の申し込み用紙に必要事項を記入し、下記の「PFAS 汚染の実態を明らかにする狛江の会」(連絡先:重国たけし)および、こまえ社会保障推進協議会(東京土建狛江支部内)まで、必要事項を記してメールまたは FAX でお申し込みください。

〈問い合わせ・申込先〉「PFAS 汚染の実態を明らかにする狛江の会」(連絡係:重国たけし、090-1775-9052、東野川 3-17-3 狛江ハイタウン 3-305、sigeny@nifty.com)、こまえ社会保障推進協議会(東京土建狛江支部内、FAX03-3430-0505)

【申込用紙(FAX 03-3430-0505、メール sigeny@nifty.com)】

●氏名(フリガナ): ()

●住所:狛江市

●電話番号:

●集計上の性別区分(男・女・その他・答えない)

●狛江市の居住年数: 年 / ●年齢: 歳